

(新書紹介)

宮崎 惇 著

棚橋源太郎 — 博物館にかけた生涯 —

棚橋源太郎先生顕彰・研究会編

棚橋源太郎先生 (1869-1961) 研究資料集

岐阜県博物館友の会発行・1992

出版の経緯

日本における博物館 (学) の創設者でもあり、かつ育ての親でもあった棚橋源太郎先生の業績が集大成され、このたび、待望の上記図書が発行されました。棚橋先生が逝去されてから、はや31年の歳月が流れましたが先生が築かれた業績は今でも我が国の博物館界に光り輝いており、私達を導いております。この書は現在の博物館で活躍されている方々にとっては勿論のこと、これから博物館で生きようとする若い学芸員にとっても常に座右に置かれるべき貴重な資料と信じ紹介致します。

著者は棚橋先生の生地でもある岐阜県の県立博物館の創立準備委員でもあり、設立後は自然係長も勤められた宮崎惇先生で、棚橋先生の後輩に当たり棚橋先生の研究者でもあります。昭和45年から「岐阜の博物館」に7回にわたり「棚橋源太郎伝」を連載され、その後も今日まで研究されたデータを集大成されて1冊の単行本にまとめられたものです。また、この図書には別冊として棚橋先生の「研究資料集」が附属しております。この図書こそ、棚橋先生の歩んできた足跡が詳細に綴られており、先生の人柄を知ることができるばかりでなく、博物館学の研究者にとっては日本の博物館の夜明けを学ぶ意味で貴重な資料と言えます。平成2年岐阜県博物館内に「棚橋先生伝記編集委員会」が設立され、組織の力で精力的に資料の収集と研究活動が展開された成果であり、関係された方々に深甚なる敬意を表します。

図書の内容

「棚橋源太郎 — 博物館にかけた生涯 —」は262頁にわたる単行本 (A 5 版) で内容は棚橋先生の生

涯を伝記の形式をとってまとめられているが、そこに流れているものは日本の博物館史であり、かつ棚橋先生の博物館観でもある。両者を統一的にみると、そこに現在の日本の博物館のルーツを求めることができる。

内容を大別すると、棚橋先生の(1)出生から成長時代(2)勉学時代 (岐阜県師範学校から東京高等師範学校) (3)博物館活躍時代 (博物館主事—通俗教育館—東京博物館長—赤十字社参考館—東京科学博物館) (4)退官後の活動時代 (日本博物館協会、博物館法の制定、立教大学博物館学講座担当) と4段階にまとめることができる。

明治2年 (1869) 岐阜県南柿ヶ瀬に生をうけ、昭和36年 (1961) 91歳にして没するまで約一世紀に亘る人生の中で日本の博物館育ての親として活躍された先生の姿が脈々として息づいている著書である。

目次は次のとおり。カッコ内は頁数
誕生 (1~12)。小学校時代 (14~25)。師範学校へ (29~41)。高等師範学校へ (44~60)。東京高等師範学校へ (63~79)。博物館主事を引き受ける (82~95)。通俗教育館 (100~116)。東京博物館長となる (119~130)。赤十字社参考館 (135~154)。東京科学博物館開館 (158~183)。博物館法制定 (187~203)。棚橋源太郎先生年表 (212~256)。参考図書・協力者一覧 (257~260)。

別冊の「棚橋源太郎先生研究資料集」は棚橋先生の顕彰・研究会の編集によるもので(1)棚橋源太郎先生年表 (宮崎惇記)。(2)棚橋家小史 (棚橋源太郎手記)。(3)棚橋源太郎先生著作目録(1)(新井孝喜記)。(4)岐阜県博物館所蔵棚橋源太郎先生関係資料目録(1) (同書編集委員会)。(5)同上(2)[新井孝喜氏寄贈の

部] (同書編集委員会)。 (6)「棚橋源太郎研究」参考資料, 日本全国書誌第1841号(国立国会図書館)。(7)国立科学博物館所蔵「棚橋文庫」目録(単行本の部)(棚橋先生顕彰・研究会)。(8)棚橋源太郎先生の業績(宮崎惇記)。(9)伝記「棚橋源太郎」目次と奥付(宮崎惇記)。(10)本邦博物館機構の改善[遺稿(未完)](棚橋源太郎手記)。

本書の購入申し込み法

発行所: 岐阜県関市小屋名小洞1989
岐阜県博物館内岐阜県博物館友の会

電話: 0575-28-3111

Fax: 0575-28-3110

定価: 資料集共1,500円+送料310円=計1,810円
申し込み法: 希望者(希望機関)は「はがき」「Fax」または「電話」にて発行所に申し込んで下さい。本書の発送先を明記すること。

申し込みにより著書と一緒に振替用紙をお届けします。その振替用紙を使って代金1810円を払い込んで下さい。

(学会員, 新井重三)

第3巻・第4巻合併号

論文・報告

地域における公立自然史博物館の建設と活動 —エメラルドネックレスを例として— 新井 重三

博物館の建築と展示 —1979年海外調査記録から— 武田 臣玄

博物館相当施設の整備 —特に古墳の復原を中心として— 茂木 雅博

第4回国際動物園教育者協会例会報告 遠藤 悟朗

短 報

博物館における近代的な情報処理 吉村典夫・五十嵐瞳

博物館の機能上の一つの課題 —身体障害者へのサービス— 岩崎 友吉

第2巻 第1号・第2号合併号

論文・報告

地域博物館における学芸員と特別展 浜口哲一・小島弘義

博物館社会教育の展開をめぐる一考察 —博物館における教育研究と教材開発— 広瀬 鎮

保存に関する軸装絵画の特性 登石 健三

博物館展示の教育的効果 芳井 敬郎

教育博物館の成立 椎名 仙卓

新収資料の展示の目的と課題 —平塚市博物館の場合— 小川 直之

根津美術館の展示について 矢崎 格

短 報 博物館実習への提言 島田 恂

博物館の運営について 内海 量夫

第1巻 第2号

論 文 自然史系中小博物館における教育活動の構成 芹沢 俊介

博物館発達史上における「通俗教育館」の位置 椎名 仙卓

地方博物館の建設プランニング —その実際的アドバイス— 小島 弘義

展示解説と文献抄録 —情報処理の視点からの考察— 吉村 典夫

短 報 博物館学講座の開設と問題点

—埼玉大学の場合— 新井 重三

第1巻 第1号

論 文 環境保存の手引き 登石 健三・見城 敏子

大正期における博物館設置運動の特質 —議会の建議案を中心として—

— 椎名 仙卓

美術館内の塵埃降下について 森田 恒之

博物館法の成立とその時代 —博物館法成立過程の研究— 伊藤 寿朗

短 報 岐阜県博物館(仮称)の資料収集 宮崎 惇

研究博物館としての目黒寄生虫館 亀谷 了